

『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に  
基づく平成29年度の実施について



## 政策目標1

鹿島のものづくりをさらに磨き上げて鹿島ならではのしごとを生み出す

## 基本戦略①

新規就農者、農業後継者への支援

○意欲ある新規就農者定着支援事業（地元就農促進型） 1,800千円（新）

市内で親元就農する農業者に対して、月額3万円（1年間）の補助を行う。

○新規就農総合支援事業 27,000千円

45歳未満の青年農業者の就農支援のため、年間最大150万円の就農給付金を、経営開始から5年間を限度に給付する。

## 基本戦略⑤

既存中小企業者・新規創業者及び第2創業者への支援

○かしまビジネスサポートセンター設置・運営事業 10,000千円

市内中小企業・小規模事業者の経営上の課題や創業に関する相談などに対して、専門的な指導・助言を行うワンストップ窓口を設置し、事業者に寄り添った支援やサポートを行う。

**基本戦略⑥** 地域経済の活性化と雇用の場を確保するための既存工場に対する支援**○企業助成措置事業** 2,281千円

工場団地への進出企業や、指定地域において地元企業が行う設備投資に対して、奨励金を交付する。  
※H29は4企業への助成。

**基本戦略⑦** 中心商店街の再活性化と地域が持つ特有の強みを活かした商店街づくり**○祐徳門前町街づくり事業** 10,000千円（新）

祐徳門前地区において、建物修景、小公園整備、道路美装化など、街なみの環境整備を行う。  
※H29は事業計画の策定を行う。

**基本戦略⑧** 新たな産業の創出と産業活性化施設「海道しるべ」の活用**○新商品等販路支援ショップ** 2,415千円

「海道しるべ」において、地域内の資源等を利用して新たに開発された商品等のテスト販売を行い、商品の改良に繋げ、新商品の宣伝と販路拡大を支援する。

**政策目標 2** 定住促進と交流人口の拡大**基本戦略①** UIJターンや本市居住希望者の定住促進のための空き家バンク制度の普及**○空き家登録活用事業** 2,225千円

市内の空き家を市に登録してもらい、U・I・Jターンなどの移住希望者に対して空き家情報を発信する。(空き家バンク制度)  
また、制約した物件のリフォーム費用の1/2を補助する。

**基本戦略②** 居住の安定や定住促進のための子育て世帯向け住宅の供給**○鹿島市緊急経済対策住宅改修事業** 5,000千円

市内業者が施工した住宅リフォームの費用の一部に対して、補助金を交付する。(工事費1万円以上、1工種につき補助上限10万円)

**○市営住宅建設事業** 1,113千円

民間資金を利用したPFI事業による新しい市営住宅の建設を行う。  
※H29は民間事業者を選定し、10月から着工予定。

基本戦略③

空き家となった伝統的な建物の観光資源や定住促進のための活用

○肥前浜宿空き町家入居促進事業

2,180千円

市外から伝建地区内の空き町家への転入者に対して、5年以上の入居とまちづくりへの協力を条件として、改装費用や家賃の一部を補助する。

基本戦略④

伝統的な町並みや景観を活かした地域振興の推進

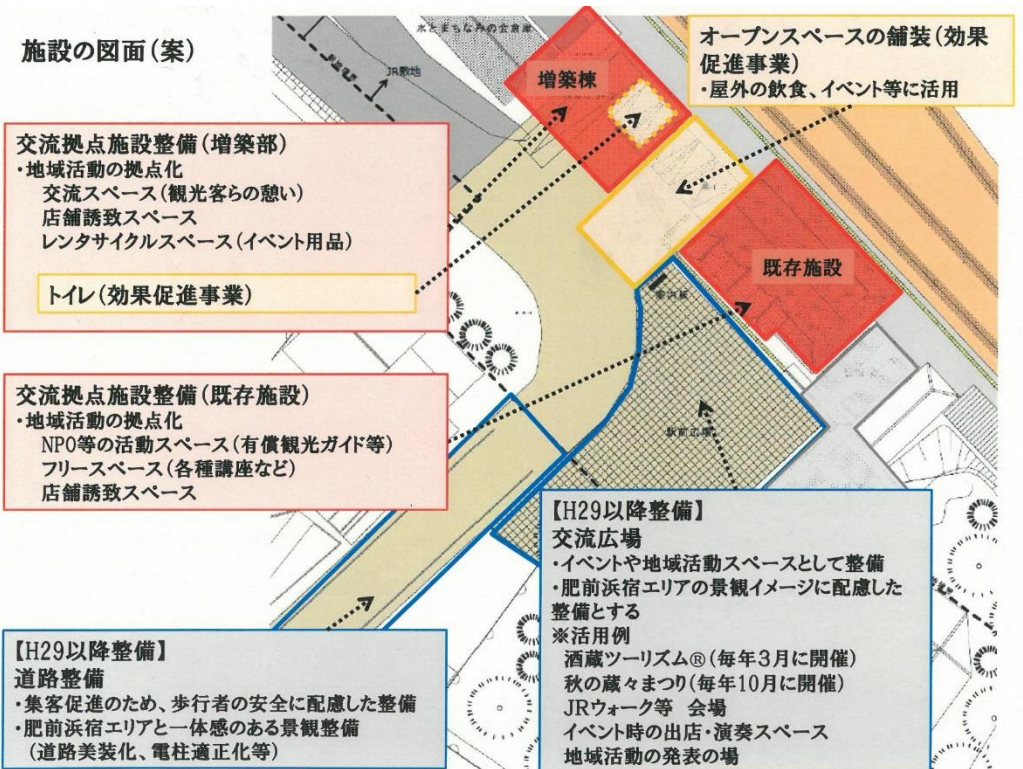
○肥前浜宿街なみ環境整備事業

56,808千円

肥前浜宿の街なみにあった家屋の外観や道路など、景観に配慮した環境整備を行う。

※H29は、庄金小公園の設計、庄金地区の道路美装化、修景補助などを実施する。

また、県が行う肥前浜駅の駅舎を改修に合わせて、肥前浜駅の機能やデザインの検討を行う。



県が行う肥前浜駅の駅舎改修の図面(案) →

## 基本戦略④

伝統的な町並みや景観を活かした地域振興の推進（つづき）

## ○肥前浜宿地域おこし協力隊事業

3,880千円（新）

「地域おこし協力隊」として、地域に入って地域の活性化に取り組む人材を都市圏から募集・委嘱し、肥前浜宿に関する情報の発信等のミッションに取り組んでもらう。

## 地域おこし協力隊について

## 地域おこし協力隊とは

○**制度概要**：都市地域から過疎地域等の**条件不利地域に住民票を移動**し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの**「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る**取組。

○**実施主体**：地方公共団体

○**活動期間**：**概ね1年以上3年以下**

○**総務省の支援**：

◎地域おこし協力隊取組自治体に対し、概ね次に掲げる経費について、**特別交付税により財政支援**

①地域おこし協力隊員の活動に要する経費：隊員1人あたり400万円上限

（報償費等200万円〔※〕、その他の経費（活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整などに要する事務的な経費、定住に向けた研修等の経費など）200万円）

※平成27年度から、隊員のスキルや地理的条件等を考慮した上で最大250万円まで支給可能とするよう弾力化することとしている（隊員1人当たり400万円の上限は変更しない。）

②地域おこし協力隊員等の起業に要する経費：最終年次又は任期終了翌年の起業する者1人あたり100万円上限

③地域おこし協力隊員の募集等に要する経費：1団体あたり200万円上限

◎**都道府県が実施する地域おこし協力隊等を対象とする研修等に要する経費について、普通交付税により財政支援（平成28年度から）**



基本戦略④

伝統的な町並みや景観を活かした地域振興の推進（つづき）

○歴史的風致維持向上計画事業

6,724千円（新）

国の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、主要な観光地においては、観光振興に資する美しい景観づくりが求められている。鹿島市では、伝建地区だけでなく、市全体の景観づくりのために「歴史的風致維持向上計画」を策定する。

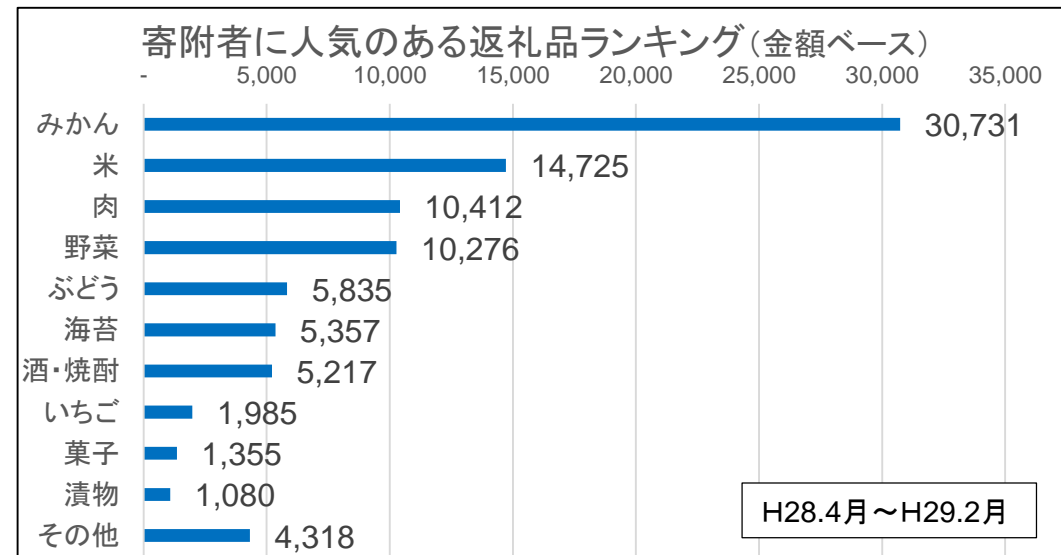
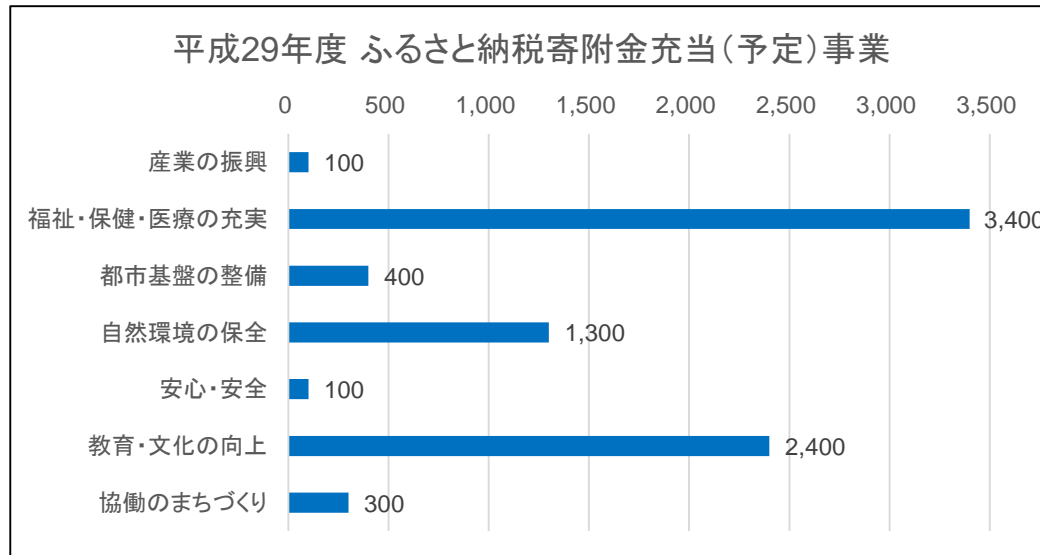
基本戦略⑤

鹿島を応援してくれる人への情報発信、ふるさと納税の推進

○ふるさと納税推進事業

100,000千円

ふるさと納税寄附金のPR、寄附者への返礼品の拡充、返礼品の送付、寄附金の積み立てを行う。  
 ※H29は寄附額1億円を見込んでいます。





基本戦略⑦ 祐徳稲荷神社を核として市内回遊の仕掛けづくり

基本戦略⑧ 観光客の市内回遊の仕組みづくり

基本戦略⑨ 鹿島流おもてなし

基本戦略⑩ 酒蔵ツーリズムの推進

基本戦略⑫ インバウンド受け入れ態勢整備に向けた取り組み

**○観光客誘致対策** 4,434千円

各種観光フェアへの参加や観光パンフレットの印刷などを行う。

**○観光プロモーション事業** 12,671千円

観光営業強化のための観光専門員の設置、外国人観光客受入のための海外へのPRや県・他市町との連携、市内観光ツアー造成への支援などを行う。

**○酒蔵ツーリズム推進事業** 2,992千円

鹿島酒蔵ツーリズムの開催だけでなく、1年を通して観光客が訪れる取組みを進める。また、都市部でのPR活動を行う。

鹿島市の観光ポスター(他5種類あり)



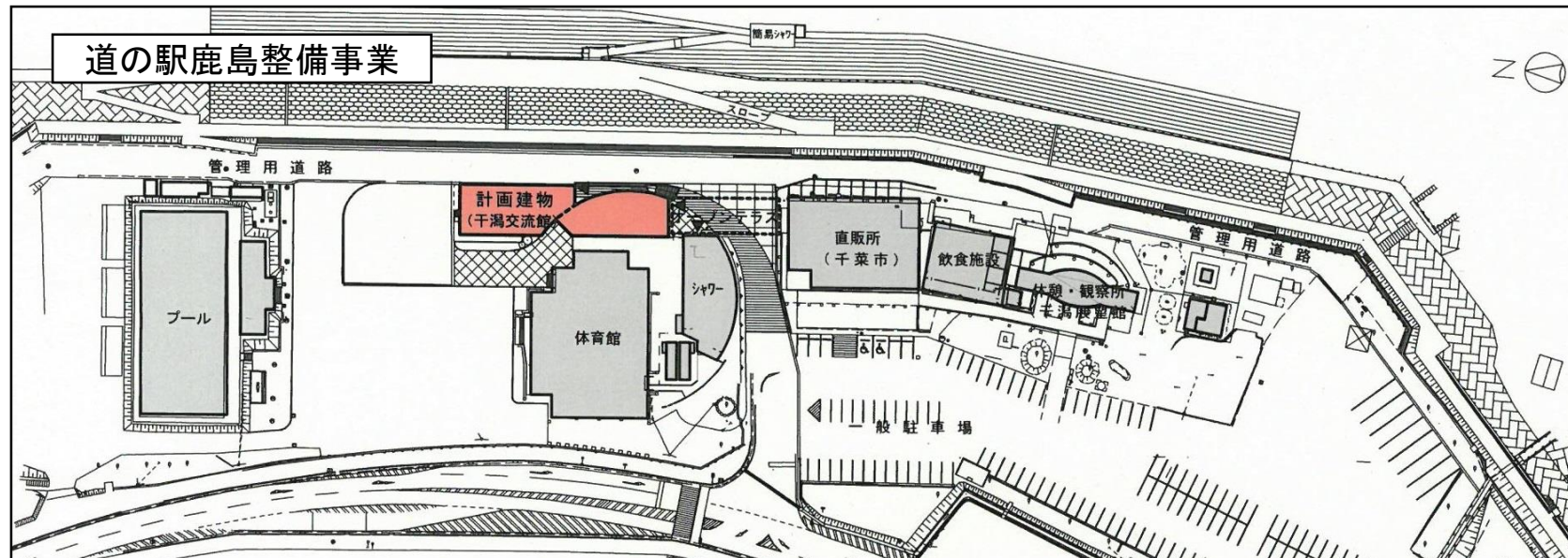
## 基本戦略⑪

## 道の駅をはじめとした観光関連施設の整備・充実

## ○道の駅鹿島整備事業

116,951千円

道の駅の核施設となる「干潟交流館」の建設に着手する。  
 ※H29は、実施設計と建設工事の一部を実施する。



## 基本戦略⑬

## スポーツイベントの誘致及びスポーツ合宿の推進

## ○スポーツ合宿誘致事業

1,000千円

スポーツ振興の活性化や多様な交流機会の創出のため、スポーツ合宿を実施する。

## 政策目標3

若者の定住を促し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりの推進

## 基本戦略②

多様な保育ニーズに対応した子育てサービスの環境整備

## ○ファミリーサポートセンター事業

3,150千円（新）

子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助を行いたい人（提供会員）を会員として「ファミリーサポートセンター」を設置し、子どもの預かりや送迎などの援助について、依頼会員と提供会員とのマッチングを行う。

## ○放課後児童クラブ施設整備事業

56,817千円（新）

保護者が仕事等で昼間不在の家庭の児童を受け入れるための放課後児童クラブの施設整備を行う。  
※H29は、古枝小学校に新設。

## 基本戦略⑤

母子保健サービスの充実

## ○不妊治療助成事業

2,500千円

保険適用外で高額となる不妊治療費用に対し、1回10万円を限度に通産6回までの助成金を交付する。  
※県の助成への上乗せ補助となる。

## 基本戦略⑥

学習意欲の向上、主体的に学習に取り組む姿勢と態度の醸成

## ○未来にはばたく子供育成事業

667千円

ふるさと人材育成基金を活用し、科学分野に興味を持つような取組みや、英語のコミュニケーション能力を身につける取組みなど、通常の授業では味わえない体験活動を実施する。

## 基本戦略⑦

ICT（情報通信技術）利活用教育の推進

## ○小中学校タブレット端末導入

27,134千円

市内小中学校にタブレット端末を整備する。

※H29は、北鹿島小・七浦小音成分校に新たに整備する。

※事業費については、タブレットやパソコン等の機器のリース料の全体を計上している。

**政策目標 4** 安全安心の確かな暮らしを営むずっと住み続けたいまちの実現**基本戦略①** 行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化**○災害対応用備蓄品整備** **3,902千円**

災害時の食料や毛布、簡易トイレ、紙おむつなどの災害対応用備蓄品の購入・更新を行う。

**○自主防災組織補助金** **1,500千円**

自主防災組織における研修会などの活動や、防災資材の購入に対し、費用の2/3の補助金を交付する。（上限あり）

**○総合防災訓練** **300千円**

総合防災訓練を実施する。  
※H29は、県と合同で開催予定。

**○避難所看板等整備** **16,475千円**

市内の各避難所等（35箇所）と、新世紀センターへの誘導看板（3箇所）を設置する。

### 基本戦略③ 水道施設の計画的な整備・更新

#### ○久保山配水池改修事業 92,502千円

新久保山配水池の建設を行う。  
※H29は、土地の造成や送水管の整備を行う。

### 基本戦略⑥ 感染症対策の充実

#### ○新型インフルエンザ等対策備蓄品整備 860千円

新型インフルエンザの発生に備え、防護服や消毒液などの備品を年次計画で更新を行う。



### 基本戦略⑧ 公共交通体系等の整備

#### ○地域公共交通活性化事業 3,480千円

平成28年度に策定した「地域公共交通網形成計画」に基づき、市内循環バスや高津原のりあいタクシーの再編やデマンド型交通の導入を行う。

※デマンド型交通…事前予約制で、乗り合いでの乗車となる運行方法。  
鹿島市では、決められたエリア内の住民（事前に利用登録された人）が、自宅から決められた目的地まで利用できるようにする。タクシーのように希望の時間ではなく、決められた時間帯での運行を予定している。

**基本戦略⑨** 西牟田地区（商業地）の混雑解消を目的とした道路の整備

○地域密着型市道改修事業（西牟田地区混雑解消） 5,000千円

西牟田地区の混雑解消のため、市道新町・組知線の改修を行う。  
 ※H29は、詳細設計等を行う。



**基本戦略⑬** 自然共生社会の形成

○有明海環境保全事業 9,726千円

ラムサール条約の目的である「保全・再生」、「ワイズユース」、「交流・学習」を進めるため、肥前鹿島干潟等に飛来する野鳥や干潟生物の調査、市民への啓発事業などを行う。

○エコツーリズム啓発事業 1,500千円（新）

エコツーリズムの素材となる豊かな自然環境保全の推進や、市の美しい自然環境のPRなどに取り組む団体に対し、補助金を交付する。

**基本戦略⑭** 新しい市民会館の整備による生涯学習施設（エイブル）と連動した市民文化交流の場の提供

○市民会館管理事業（新市民会館建設） 328千円

新市民会館について、「市民会館検討委員会」を開催し、建設に向けた検討を継続して行う。

## 基本戦略⑰

## 地域の絆づくりの推進

## ○異世代間交流事業

2,000千円

高齢者の生きがいづくりの一環として、地区老人クラブと子どもクラブ等が合同で行うニュースポーツや昔ながらの遊びなどを通じた交流事業を実施する。

## 基本戦略⑱

## CSO活動に対する支援・相談体制の充実

## ○青年活力啓発事業

2,000千円

地域で活動する若い世代を中心としたグループの取組みに対して補助金を交付する。

## ○未来スイッチ交付金

7,770千円

県単独補助による人口減少地域に対する交付金で、地域の維持活性化に資するソフト事業や公民館改修などのハード事業を対象としている。



◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
1	1	①	<u>意欲ある新規就農者定着支援事業 (地元就農促進型)</u>	市内で親元就農する農業者に対して、月額3万円(1年間)の補助を行う。	1,800	農林水産課
2	1	①	新規就農者等育成・定着支援事業	市外から転入した就農者等に対して、月額3万円(3年間)の補助を行う。また、新規就農者の育成研修の受入した農家に対して、月額3万円(2年間)の補助を行う。ただし、平成29年度からの新規申請は中止し、新事業「意欲ある新規就農者定着支援事業」により支援を行う。	480	農林水産課
3	1	①	新規就農総合支援事業	45歳未満の青年農業者の就農支援のため、自立して農業に取り組んだ場合に、年間最大150万円の就農給付金を、経営開始から5年間に限度に給付する。	27,000	農林水産課
4	1	②	中山間地休耕田等利用促進事業 (鹿島市緊急農業振興プロジェクト)	中山間地域の水田等において、主食用米以外の作付けを行った農地に、10aあたり1万円を補助する。また、新規作物の導入をした農地に、10aあたり5千円を上乗せする。	900	農林水産課
5	1	②	鹿島酒米を活かすプロジェクト事業	「鹿島酒米を活かす協議会」において、酒米の品質向上に関する研修、調査、研究、実証実験を行う。	300	農林水産課
6	1	③	さが果樹産地強化対策事業	高品質なみかん栽培のため、マルチ資材等の購入に対して、10aあたり1万円の補助を行う。また、マルチ資材の巻上装置導入に対して、10aあたり3万円の補助を行う。	747	農林水産課
7	1	④	有明海海底耕耘支援事業	有明海の水質改善のため、市が漁協に委託して渦底土を攪拌する海底耕耘を行う。これにより貝類を増殖させることで海域の水質改善につなげる。 ※H29が最終年度 国50%、県25%、市12.5%	18,050	農林水産課
8	1	④	水産多面的機能発揮対策事業	有明海において行う一般漁船による海面清掃や漁港内の攪拌廃土作業などを行う組織に対して、事業費の15%を交付する。 ※別途、国(70%)・県(15%)からの交付がある。	1,200	農林水産課
9	1	⑤	<u>かしまビジネスサポートセンター設置・運営事業</u>	市内中小企業・小規模事業者の経営上の課題や創業に関する相談などに対して、専門的な指導・助言を行うワンストップ窓口を設置し、事業者に寄り添った支援やサポートを行う。	10,000	商工観光課
10	1	⑥	<u>企業助成措置事業</u>	工場団地への進出企業や、指定地域において地元企業が行う設備投資に対して、奨励金を交付する。 ※H29は4企業への助成。	2,281	商工観光課

◎平成29年度当初予算『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
11	1	⑦	商業・商店街振興事業	魅力ある小規模事業者の育成と空き店舗解消を図るため、空き店舗への新規出店者に対して、改装費補助を行う。また、商店街に関する情報発信を行う。	4,919	商工観光課
12	1	⑦	祐徳門前商店街活性化事業	門前商店街に活性化事務所を設置し専任スタッフを配置して、チャレンジショップの開設や集客イベントの開催など、商店街の活性化に資する事業を実施する。	5,221	商工観光課
13	1	⑦	祐徳門前町街づくり事業	祐徳門前地区において、建物修景、小公園整備、道路美装化など、街なみの環境整備を行う。 ※H29は事業計画の策定を行う。	10,000	商工観光課
14	1	⑧	新商品等販路支援ショップ	「海道しるべ」において、地域内の資源等を利用して新たに開発された商品等のテスト販売を行い、商品の改良に繋げ、新商品の宣伝と販路拡大を支援する。	2,415	産業支援課
15	1	⑧	販路開拓支援事業	市内産物の生産・加工・製造事業者の見本市や商談会への出展をサポートし、全国規模での市内産業のPR、市内産品の販路開拓・拡大を図る。	1,364	産業支援課
16	1	⑨	地域産業再興事業	「鹿島市産業連携活性化協議会」を通じ、産業間の連携体系を構築・強化することで、地域産業の活性化を目指す。また、広く市民が地域産業にふれる機会を設けるため、「鹿島おまつり市」を開催する。	1,000	産業支援課
17	1	⑪	企業誘致推進基盤整備事業	市内の空き物件に事務系オフィスを開設した事業者に対して、物件の改装・補修等のインフラ整備への支援を行う。	2,500	商工観光課
18	2	①	空き家登録活用事業	市内の空き家を市に登録してもらい、U・I・Jターンなどの移住希望者に対して空き家情報を発信する。(空き家バンク制度)また、制約した物件のリフォーム費用の1/2を補助する。	2,225	都市建設課
19	2	②	鹿島市緊急経済対策住宅改修事業	市内業者が施工した住宅リフォームの費用の一部に対して、補助金を交付する。(工事費1万円以上、1工種につき補助上限10万円)	5,000	都市建設課
20	2	②	市営住宅建設事業	民間資金を利用したPFI事業による新しい市営住宅の建設を行う。 ※H29は、民間事業者を選定し、10月から着工予定。	1,113	都市建設課

◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
21	2	③	肥前浜宿空き町家入居促進事業	市外から伝建地区内の空き町家への転入者に対して、5年以上入居とまちづくりへの協力を条件として、改装費用や家賃の一部を補助する。	2,180	都市建設課
22	2	④	肥前浜宿街なみ環境整備事業	肥前浜宿の街なみにあった家屋の外観や道路など、景観に配慮した環境整備を行う。 ※H29は、庄金小公園の設計、道路美化などを実施する。また、県が行う肥前浜駅の駅舎改修に合わせ、駅の機能やデザインの検討を行う。	56,808	都市建設課
23	2	④	肥前浜宿地域情報発信事業	肥前浜駅に肥前浜宿のインフォメーション機能を設け、地域情報発信を行い、来訪者の満足度向上とリピーター獲得を目指す事業を行う。	1,534	都市建設課
24	2	④	肥前浜宿地域おこし協力隊事業	「地域おこし協力隊」として、地域に入って地域の活性化に取り組む人材を都市圏から募集・委嘱し、肥前浜宿に関する情報の発信等のミッションに取り組んでもらう。	3,880	都市建設課
25	2	④	歴史的風致維持向上計画事業	国の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、主要な観光地においては、観光振興に資する美しい景観づくりが求められている。鹿島市では、伝建地区だけでなく、市全体の景観づくりのために「歴史的風致維持向上計画」を策定する。	6,724	都市建設課
26	2	⑤	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税寄附金のPR、寄附者への返礼品の拡充、返礼品の送付、寄附金の積み立てを行う。 ※H29は寄附額1億円を見込んでいる。	100,000	企画財政課
27	2	⑥	移住推進事業	都市部で開催される移住フェア等に参加し、地方へ移住を考えている人に対して、PR活動を行う。	495	企画財政課
28	2	⑦⑧⑨	観光客誘致対策	各種観光フェアへの参加や観光パンフレットの印刷などを行う。	4,434	商工観光課
29	2	⑦⑧ ⑩⑫	観光プロモーション事業	観光営業強化のための観光専門員の設置、外国人観光客受入のための海外へのPRや県・他市町との連携、市内観光ツアー造成への支援などを行う。	12,671	商工観光課
30	2	⑩	酒蔵ツーリズム推進事業	鹿島酒蔵ツーリズムの開催だけでなく、1年を通して観光客が訪れる取組みを進める。また、都市部でのPR活動を行う。	2,992	商工観光課

◎平成29年度当初予算『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
31	2	⑪	道の駅鹿島整備事業	道の駅の核施設となる「干潟交流館」の建設に着手する。 ※H29は、実施設計と建設工事の一部を実施する。	116,951	商工観光課
32	2	⑬	スポーツ合宿誘致事業	スポーツ振興の活性化や多様な交流機会の創出のため、スポーツ合宿を実施する。	8,589	生涯学習課
33	3	①	子ども・子育て支援事業(保育所運営事業)	子ども・子育て支援制度に移行した民間保育所、公立保育所、認定こども園への運営費。	1,100,000	福祉課
34	3	①	特別保育事業	保育所・認定こども園での延長保育、一時預かり、特別支援保育事業の実施に対する補助金を交付する。	35,682	福祉課
35	3	②	ファミリーサポートセンター事業	子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と援助を行いたい人(提供会員)を会員として「ファミリーサポートセンター」を設置し、子どもの預かりや送迎などの援助について、依頼会員と提供会員とのマッチングを行う。	3,150	福祉課
36	3	②	放課後児童健全育成事業	各小学校に設置している放課後児童クラブにおいて、保護者が仕事等で昼間不在の家庭の児童を受け入れ、自主学習の支援や適切な遊びや指導、生活習慣の援助などを行う。	57,145	福祉課
37	3	②	放課後児童クラブ施設整備事業	保護者が仕事等で昼間不在の家庭の児童を受け入れるための放課後児童クラブの施設整備を行う。 ※H29は、古枝小学校に新設。	56,817	福祉課
38	3	④	地域子育て支援拠点事業	専門指導員を配置し、子育て情報の発信や育児相談への助言、親どうしの仲間づくりの推進、祖父母世代または中学生と赤ちゃんのふれあい教室等を開催する。	20,330	福祉課
39	3	④	利用者支援事業	利用者の個別ニーズを把握し、各種子育てサービス、幼稚園、保育園等に関する情報を提供し、円滑にサービスを利用できるよう関係機関との連絡調整を行う。	2,359	福祉課
40	3	⑤	育児等健康支援事業(養育支援事業)	若い妊婦や育児に問題を抱える産婦に対して、助産師が訪問し、相談支援を実施する。	81	保険健康課

◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
41	3	⑤	不妊治療助成事業	保険適用外で高額となる不妊治療費用に対し、1回10万円を限度に通産6回までの助成金を交付する。 ※県の助成への上乗せ補助となる。	2,500	保険健康課
42	3	⑥	未来にはばたく子供育成事業	ふるさと人材育成基金を活用し、科学分野に興味を持つような取組みや、英語のコミュニケーション能力を身につける取組みなど、通常の授業では味わえない体験活動を実施する。	667	教育総務課
43	3	⑦	小中学校タブレット端末導入	市内小中学校にタブレット端末を整備する。 ※H29は、北鹿島小・七浦小音成分校に整備する。 ※事業費については、タブレットやパソコン等の機器のリース料の全体を計上している。	27,134	教育総務課
44	4	①	災害対应用備蓄品整備	災害時の食料や毛布、簡易トイレ、紙おむつなどの災害対应用備蓄品の購入・更新を行う。	3,902	総務課
45	4	①	自主防災組織補助金	自主防災組織における研修会などの活動や、防災資材の購入に対し、費用の2/3の補助金を交付する。(上限あり)	1,500	総務課
46	4	①	総合防災訓練	総合防災訓練を実施する。 ※H29は、県と合同で開催予定。	300	総務課
47	4	①	避難所看板等整備	市内の各避難所等(35箇所)と、新世紀センターへの誘導看板(3箇所)を設置する。	16,475	総務課
48	4	②	防災情報伝達システム等	災害に関する情報を市民に対し迅速に提供するため、防災情報伝達システムや防災行政無線の維持管理を行う。	13,847	総務課
49	4	③	水道配水設備(布設替)整備事業	老朽化した配水管等の布設替を実施する。 ※H29は、延長400mを実施。	27,000	水道課
50	4	③	久保山配水池改修事業	新久保山配水池の建設を行う。 ※H29は、土地の造成や送水管の整備を行う。	92,502	水道課

◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
51	4	④	環境林整備事業	荒廃森林の再生のため、県が実施している森林環境税を活用して、市内の環境林において、除間伐等を行う。	1,651	農林水産課
52	4	⑤	肝疾患検診事業	早期発見・早期治療に結びつけるため、30歳代の新規及び未受診者を対象に、肝臓がんの原因となる肝炎ウイルス検診を行う。	250	保険健康課
53	4	⑤	特定健診事業	生活習慣病の予防のため、40歳以上の国民健康保険の被保険者を対象に、特定検診を実施する。	22,401	保険健康課
54	4	⑤	特定保健指導事業	生活習慣の改善により生活習慣病の重症化を防止するため、特定検診の結果いわゆる生活習慣病の予備軍と判断された人を対象に、特定保健指導を実施する。	2,203	保険健康課
55	4	⑥	新型インフルエンザ等対策備蓄品	新型インフルエンザの発生に備え、防護服や消毒液などの備品を年次計画で更新を行う。	860	保険健康課
56	4	⑥	小児インフルエンザ予防接種費用助成	中学3年生以下を対象に、インフルエンザ予防接種に係る費用に対し1,000円を助成する。	3,100	保険健康課
57	4	⑦	JR肥前鹿島駅舎改築・駅前広場整備事業	JR肥前鹿島駅周辺を魅力ある空間とするために、駅舎と駅前広場を整備する。 ※H29は、駅整備の専門家やJRとの協議などを行う。	170	都市建設課
58	4	⑧	地域公共交通活性化事業	平成28年度に策定した「地域公共交通網形成計画」に基づき、市内循環バスや高津原のりあいタクシーの再編やデマンド交通の導入を行う。	3,480	企画財政課
59	4	⑨	地域密着型市道改修事業 (西牟田地区混雑解消)	西牟田地区の混雑解消のため、市道新町・組知線の改修を行う。 ※H29は、詳細設計等を行う。	5,000	都市建設課
60	4	⑩	社会資本整備総合交付金事業 (段差解消・カラー舗装)	交通安全のため、歩道等の整備やカラー舗装を行う。 ※H29は、市道中牟田・御神松線で段差解消、市道中川・西峰線他でカラー舗装を実施する。	22,000	都市建設課

◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
61	4	⑪	公園施設管理事業(街かど花壇)	都市緑化の推進と高齢者の生きがいづくりの一環として、シルバー人材センターに市役所前の花壇の管理を委託する。	375	都市建設課
62	4	⑫	家庭用浄化槽設置整備事業	水質汚濁防止のため、下水道区域以外の区域において、家庭用合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付する。	23,727	環境下水道課
63	4	⑫	3R推進事業	家庭用生ごみの排出量を削減するため、大字納富分地区において、生ごみを回収し、堆肥化を行う。	1,894	環境下水道課
64	4	⑬	有明海環境保全事業	ラムサール条約の目的である「保全・再生」、「ワイズユース」、「交流・学習」を進めるため、肥前鹿島干潟等に飛来する野鳥や干潟生物の調査、市民への啓発事業などを行う。	9,726	環境下水道課
65	4	⑬	エコツーリズム啓発事業	エコツーリズムの素材となる豊かな自然環境保全の推進や、市の美しい自然環境のPRなどに取り組む団体に対し、補助金を交付する。	1,500	環境下水道課
66	4	⑭	市民会館管理事業 (新市民会館建設)	新市民会館について、「市民会館検討委員会」を開催し、建設に向けた検討を継続して行う。	328	総務課
67	4	⑮	生涯学習センター指定管理委託	生涯学習の発展のため、一般財団法人鹿島市民立・文化振興財団へ生涯学習センターの管理運営を委託する。	88,983	生涯学習課
68	4	⑯	市民立図書館指定管理委託	生涯学習の発展のため、一般財団法人鹿島市民立・文化振興財団へ市民立図書館の管理運営を委託する。	68,592	生涯学習課
69	4	⑰	老人クラブ活動等事業 (異世代間交流事業)	高齢者の生きがいづくりの一環として、地区老人クラブと子どもクラブ等が合同で行うニュースポーツや昔ながらの遊びなどを通じた交流事業を実施する。	2,000	保険健康課
70	4	⑰	公民館一般経常 (地区公民館指定管理委託)	地域活性化のため、各地区振興会等へ地区公民館の管理運営を委託する。	58,521	生涯学習課

◎平成29年度当初予算 『鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略』対応事業一覧

(単位:千円)

No.	政策 目標	基本 戦略	事業名	事業内容	H29事業費	課名
71	4	⑰	親子で楽しむ歴史教室	市内6地区の歴史や伝統行事などについてのガイドブックを作成し、地域学習につなげるため、学校に配布する。	260	生涯学習課
72	4	⑱	観光振興対策 (伝承芸能フェスティバル等イベント開催)	伝承芸能フェスティバルや鹿島おどりなどのイベント開催のため、開催費用の一部を負担する。(「鹿島市イベント連絡調整協議会」へ) ※事業費については、他イベント分と混在しており、伝承芸能フェスティバル分としては不明であるため、空欄としている。		商工観光課
73	4	⑳	ふるさと創生事業奨励金 (伝承芸能備品購入補助)	ふるさと創生基金を活用し、伝承芸能備品の更新や国際交流など地域活性化につながる事業について、幅広く奨励金を交付する。 ※事業費については、奨励金が伝承芸能に関するもの以外も対象としているため、空欄としている。		企画財政課
74	4	㉑	<u>青年活力啓発事業</u>	地域で活動する若い世代を中心としたグループの取組みに対して補助金を交付する。	2,000	企画財政課
75	4	㉒	<u>未来スイッチ交付金</u>	県単独補助による人口減少地域に対する交付金で、地域の維持活性化に資するソフト事業や公民館改修などのハード事業を対象としている。	7,770	企画財政課
			合計		2,203,955	

※下線は、P1～P14に挙げている事業です。







平成二十九年三月二十七日（月）

鹿島市まち・ひと・しごと

創生会議